

もがみ探検隊 ~東法田~

総務 西塚 衛一



第2回目は、国道47号線沿いにある「日本一の赤松」の看板に導かれ「東法田～野頭～上鷄杉」のコースを探検してきました。

まず、国道から10分ほどの所にある蕎麦屋さん「白川みつわ会」にむかいました。ここは保育所の廃校跡を利用しているため、建物の中はトイレや水場・遊技場が小さく、自分が巨人になった様な錯覚をおこす楽しさがありました。昼食の蕎麦を頂き満腹になった所で、永井医院の蕎麦クラブの部員6人が、みつわ会の柴崎さんの教えの下でせっせとそば打ち体験をしました。打



ている時の蕎麦はとても香りが強く、できた蕎麦の味は格別な物だったそうです。次に、みつわ会から2分ほどの場所にある“日本一の赤松”へむかいました。赤松は探検隊全員初体験。「いざ赤松へ！」と意気込み山を登り始めましたが、わずか5分ほどで赤松に到着し、思ったほど高くない所に松はありました。赤松の幹の太さや木肌のたくましさはさすが日本一です。次は赤松から2～

3分程先にある白川溪谷へむかいました。この溪流は、堰堤の上流の2本の溪流と、堰堤の下でもう1本の溪流が合わさり1本の大きな白川溪谷になっています。キャンプ場が整備され、堰堤を補強したため昔とは大きく様変わりしていましたが、今



も昔も溪流釣りのメッカです。そこから上流に進んで、途中に架かっている橋から見る溪谷の綺麗なこと。もう少し早い時期に来ると紅葉と合わさり、更にきれいだっただろうと想像しました。そのまま林道を進んで行くと野頭地区に出ました。そこから通称すんびたれ坂～浪沢（通称ナット沢）～横川地区～親倉見（しんくらみ）～上鷄杉地区を通り探検を終了しました。このコースの途中で“ホテルロード”や“日本最大級の権現山の大カツラ”、いくつもの登山口など多くの案内板を見つけました。

今回の探検は、前回の堺田地区とはまた違う、自然豊かな最上町ならではの探検でした。みなさんもどこかの町で「この看板なんだろう？」と興味を持ったら、導かれるままドライブしてみてもいいかもしれません。

